



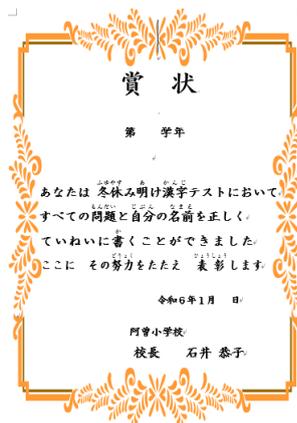
伸びよう阿曾っ子



1月品格目標:礼儀

校長先生の漢字テスト結果 全問正解者 39名 / 122名中

三学期始めに全学年で冬休み明け漢字テスト行いました。1年生にとっては初めての漢字テストでしたが、張り切って取り組み、なんと11人も全問正解者がいました。よく頑張りました!大人でも「どうだったかな?」と迷う字や送り仮名があるかと思います。学習した学年のうちに、正しい漢字を書けるようになることは大事なことです。この漢字テストが、AZO ノートや GIGA パソコンのドリルを活用して、ひとりひとりが自分の弱点を克服し、次の学年へつなげてくれるきっかけになれば嬉しいです。



とんど焼きに参加 3年生 R6. 1. 12



3年生の子どもたちが、社会科「昔のくらし」の学習の一環で、阿曾分館で開かれた地域の「とんど祭り」に参加させていただきました。

地域の方が前日から準備をしてくださった井げたの中に自分たちが書いた習字を入れて準備をしていきます。まずは、とんど焼きの意味を紙芝居風のお話で教えてもらいました。そして、いよいよ点火です。火がつくと瞬間に天高く炎が上がっていきました。子どもたちは、パーン!と大きな音で竹が爆ぜるたびに歓声をあげ、自分の書いた字が天高く舞い上がるよう火を見つめていました。

火が燃えて残った炭でミカンをあぶりました。「まだ熱いなあ。」と言いながら竹に刺したミカンを上手にあぶっていました。また、栄養委員の皆さんが、とてもおいしいぜんざいを作ってくださいました。ありがとうございました。

学びだけでなく地域の方や幼稚園児との触れ合いができ、とても良い時間となりました。

薬物乱用防止教室 6年生 R6.1.15

薬物についてのニュースは残念ながら絶えることがありません。阿曾っ子たちには、薬物と全く関係ない人生を歩いてほしいと切に願いますが、いつ、どこに落とし穴があるかわかりません。そこで、総社警察署 生活安全課より 飯村 和弘 巡査部長 に来ていただき、6年生達が話を聞きました。

飯村さんは薬物の見本を持ってきてくださっていました。ただの粉にしか見えなかったり、きれいな錠剤だったり、グミのようなものだったり…大麻草の模型もただの草にしか見えません。そういうものだと思わなければわかりません。薬物を手に染めた人たちは、先輩や友達に誘われて初めて体験し、やがて中毒状態になっていくことが多いそうです。「気持ちよくなるから…」「すっきりするから…」と誘われた時に、この授業を思い出して、「そんなことするの格好悪いよ。」「自分はやりたくないよ。」「やめようよ。」と言える強い心を持ってほしいと思いました。



ピアサポート活動に取り組んでいます

コロナ感染症によってストップしていたピアサポート活動が活発化してきました。

①かけ算九九を聞いてもらおう！2年生 ⇄ 6年生

2年生は算数でかけ算九九をがんばって覚えています。その成果を6年生達が聞いてくれるというピアサポート活動をしました。ちょっと緊張気味な2年生達一人一人に6年生が付き、間違えずに言えたらシールをカードに貼ってもらえます。間違えても「もう一回言ってみよう。」や「ゆっくりでいいよ。」など6年生のやさしい声掛けもあり、落ち込むことなく時間いっぱい頑張ることができました。

かけ算九九は今後、算数が得意になるか苦手になるかの分かれ道です。どの子も完璧に九九をマスターして3年生になってほしいです。がんばれ!!2年生。そして、ありがとう!!6年生。

②幼稚園児の凧揚げ 幼稚園年長さん ⇄ 5年生

来年入学してくる阿曾幼稚園年長さん達が、阿曾小学校の校庭へ凧揚げにやってきました。その時に、来年、最高学年となり、新1年生のサポートを任される5年生達が凧揚げのサポートをしました。

風はいい感じにはふいていましたが、上げ始めが難しく、凧を持ってあげる5年生達が多くいました。中には、「ぼくについて走って!」と先導してあげる5年生も。帰るときに幼稚園児から「お兄ちゃんがおってくれたから凧が上がって楽しかった。」や「またお姉ちゃんと一緒に凧揚げしたい。」という声が聞かれ、ほっこりした校長でした。